

2020年10月22日



ミステリ・SF・ファンタジー・ホラーの専門出版

株式会社 東京創元社

〒162-0814

東京都新宿区新小川町1-5

## 第一話をまるごと試し読み！

同姓同名でも全く違う人生を送る5人を描いた、

奥田亜希子最新作『白野真澄はしょうがない』に注目！

小説すばる文学賞を受賞してデビュー、かねてから業界内外の高い支持を集め、文芸出版社各社から作品を発表し続ける実力派作家・奥田亜希子の最新作！

刊行前に読んだ全国の書店員から絶賛や共感の声が続々寄せられるなど、高い注目を集めています。

特設サイトでは第一話「名前をつけてやる」をまるごと試し読みができます！



この世界に同じ名前を持つ人はたくさんいるけれど、どれひとつとして同じ悩みはない。少し頑固で、生きることには不器用な人たちを優しい眼差しで掬いあげる傑作短編集全五編。

名前、両親、夫婦、友人など誰もが共感できるテーマを取り上げつつ、SNSの炎上や就職、結婚と出産など今気になる問題も絡め物語もあり、読者に感情移入や共感を呼ぶ要因のひとつとなっている。

事前に読んだ書店員から絶賛や共感のコメントが多数寄せられている。

## 【内容紹介】

福岡のクリニックで働く「頼れる助産師の白野さん」には、自分とは対照的に美しい妹がいる。佳織は真澄の誇りだったが、真澄には仲の良い妹にも言えない秘密があった……。駆け出しイラストレーター、結婚して白野姓になった主婦、二人の男の間で揺れる女子大生、繊細な小学生。「白野真澄」という同じ名前を持つ者の五者五様のわだかまりと秘密。生きるのに少し不器用で頑固な者たちを優しい眼差しですくいあげる短編集。

特設サイトでは第一話「名前をつけてやる」をまるごと試し読みができます！

著者直筆コメントや特別エッセイもお楽しみいただけます！

## 『白野真澄はしょうがない』特設サイト

<https://special.tsogen.co.jp/shiranomasumi>

## ●書店員さん、激賞!!●

福岡のクリニックで働く「頼れる助産師の白野さん」には、自分とは対照的に美しい妹がいる。佳織は真澄の誇りだったが、真澄には仲の良い妹にも言えない秘密があった……。駆け出しイラストレーター、結婚して白野姓になった主婦、二人の男の間で揺れる女子大生、繊細な小学生。「白野真澄」という同じ名前を持つ者の五者五様のわだかまりと秘密。生きるのに少し不器用で頑固な者たちを優しい眼差しですくいあげる短編集。

誰かの一言、行動が自分にとって前を向けるきっかけになるかもしれない。しょうがないことはしょうがない、そう思える人生があってもいいし、悪くない。様々な白野真澄たちの物語を読んでそう思った。

MARUZEN&ジュンク堂書店渋谷店 勝間準さん

「白野真澄」彼、彼女はきっと私の隣人だ。平凡な生活を送っているように見えて、彼らも、そして私も日々色々な事に直面して、色々な事を考えながら生きている。そんな私たちの当たり前の人生が、

不思議で興味深くて愛おしく感じる。

東京旭屋書店新越谷店 猪股宏美さん

それぞれの白野真澄が抱える生きづらさ、苦しみを掬いとられ、はき出された後の爽快感たるや。小説は生きる力を与えるんだ。

ジュンク堂書店滋賀草津店 山中真理さん

どの短編にも自分がある気がして、共感して、頷きながら、大切に | 編 | 編読み進めました。載っていた全ての短編が大好きです。なので、とても大好きな | 冊 | になりました。

SerenDip明屋書店アエル店 武方美佐紀さん

どのお話も今気になるテーマや問題が取り上げられていたり、自分の悩みに重ね合わせることができたりして、考えながらも楽しい時間を過ごせました。白野真澄、いい名前!

三省堂書店名古屋本店 田中佳歩さん

最初から最後まで好きでした! まあ、しょうがないよねというどこか心を軽くしてくれる言葉が似合う素敵な作品でした。

明文堂書店富山新庄経堂店 野口陽子さん

短編間のささやかなリンクに、ポッと温まります。白野真澄はしょうがない。なんてホッとさせてくれる言葉だろう。読んで癒される人、続出ではないでしょうか?!

うさぎや 矢板店 山田恵理子さん

読後の「すごく良かった」というこの感覚を、多くの人と共有したいです。

三省堂書店池袋本店 早野佳純さん

さらりと読めてしまうのにいつの間にか価値観や固定観念の枠を少し緩めてくれる。美味しいお菓子の詰め合わせのような短編集です。

ジュンク堂書店池袋本店 小海裕美さん

「両性花の咲くところ」では、「中途半端でもいいのだ」と許された気がした。見方や光の当て方次第で、人生は何通りにも変化していく。彼らの行く末が、かすかに光って見えた。

丸善丸広百貨店東松山店 本郷綾子さん

白野真澄という同姓同名の人たちのそれぞれの物語。作風がそれぞれ異なっていて、まるで別々の作家さんが書いたかのように感じられることもこの作品の魅力だと思います。

幕張蔦屋書店 後藤美由紀さん

生きることは選択の連続だ。深い闇の先には希望の光が待っている。心の刺を優しく包みこむような確かな文学世界がここにある！

ブックジャーナリスト 内田剛さん

(書店名五十音順)

# 「自分のこと、好きですか？」

**答えに迷った人は  
コレを読もう!!**



**白野真澄は  
しょうがない**  
奥田亜希子  
東京創元社

**みんな違ってみんないい!!!  
5人それぞれの“白野真澄”の物語**

## 絶賛&共感の声続々

読んで癒される人、続出ではないでしょうか?!  
うさぎや矢板店 山田恵理子さん

どの短編にも自分がいる気がして、共感して大切に読み進めました。  
SerenDip 明屋書店アエル店 武方美佐紀さん

心の中に“共感”としてそっと寄り添ってくれる、温かさが胸に沁みるお話でした。  
BOOKPORT 鶴見店 渡辺美由希さん

さらりと読めてしまうのにいつの間にか価値観や固定観念の枠を少し緩めてくれる。  
ジュンク堂書店池袋本店 小海裕美さん

ラストの真澄くんにはホロリと涙が出てしまいました。  
柳正堂書店甲府昭和イトーヨーカドー店 山本机久美さん

### 【著者紹介】

奥田亜希子(おくだ・あきこ)

著者紹介入る

### 【書誌情報】

- 書名：白野真澄はしょうがない

- 著者名：奥田亜希子
- 出版社：東京創元社
- 判型：四六判上製
- ページ数：220 ページ
- 価格：1,760 円（本体価格：1,600 円）
- ISBN：978-4-488-02815-1
- Cコード：C0093

【会社概要】

株式会社 東京創元社 (<http://www.tsogen.co.jp>)  
〒162-0814  
東京都新宿区新小川町 1-5

【報道関係者向け問い合わせ先】

〒162-0814 東京都新宿区新小川町 1-5  
(株)東京創元社 編集部 金城颯 (きんじょう・はやて)  
tel 03-3268-8204 (fax 03-3268-8409) h\_kinjo@tsogen.co.jp